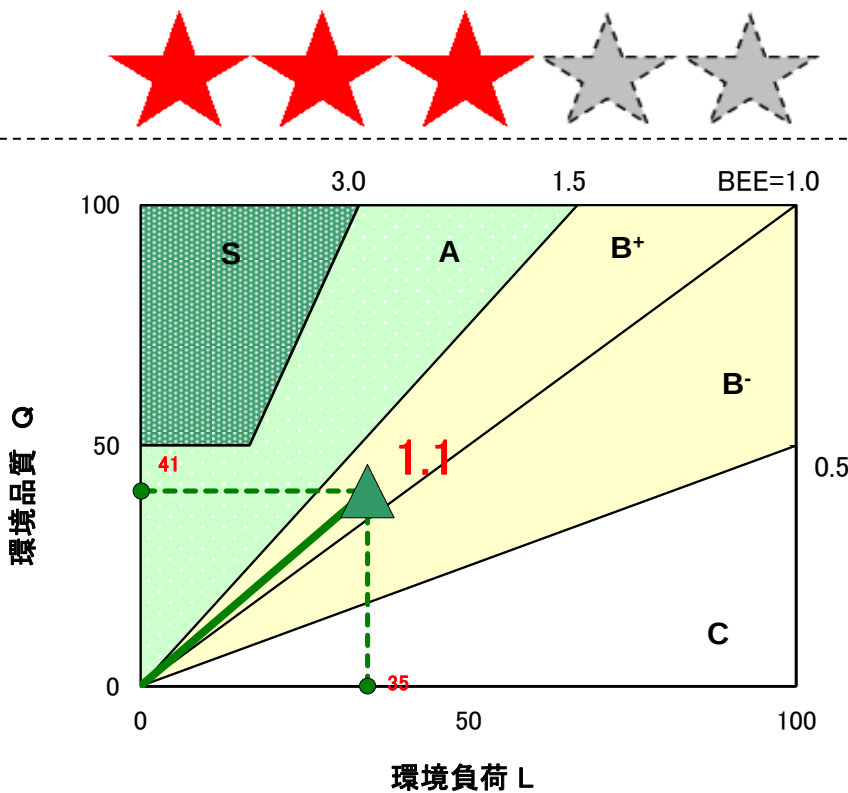


CASBEE®

CASBEE熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	階数	地上2F		
建設地	熊本県熊本市南区南高江3丁目187	構造	S造		
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	50 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年		
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2018年7月30日		
敷地面積	31,885 m ²	作成者	権藤 浩		
建築面積	7,411 m ²	確認日	2018年8月1日		
延床面積	16,547 m ²	確認者	松尾建設株式会社一級建築士事務所		

1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)																																																
★★★★★		BEE = 1.1																																														
		■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■ 環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table> ■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><tr><th>判定値 (排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値 (排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値 (排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能 (ランク表示)		排出率																																														
☆☆☆☆☆		72%																																														

2

熊本県重点評価結果

重点事項総合評価

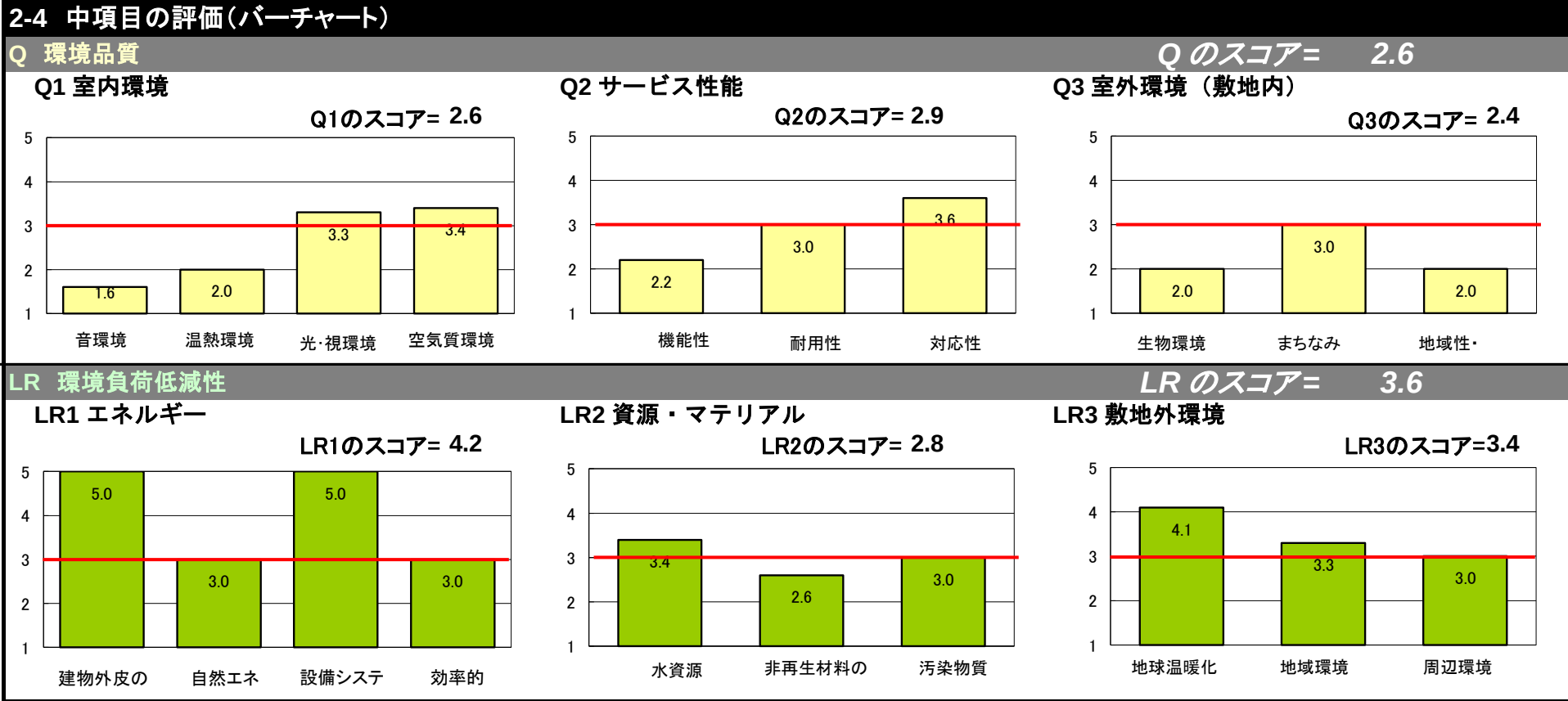
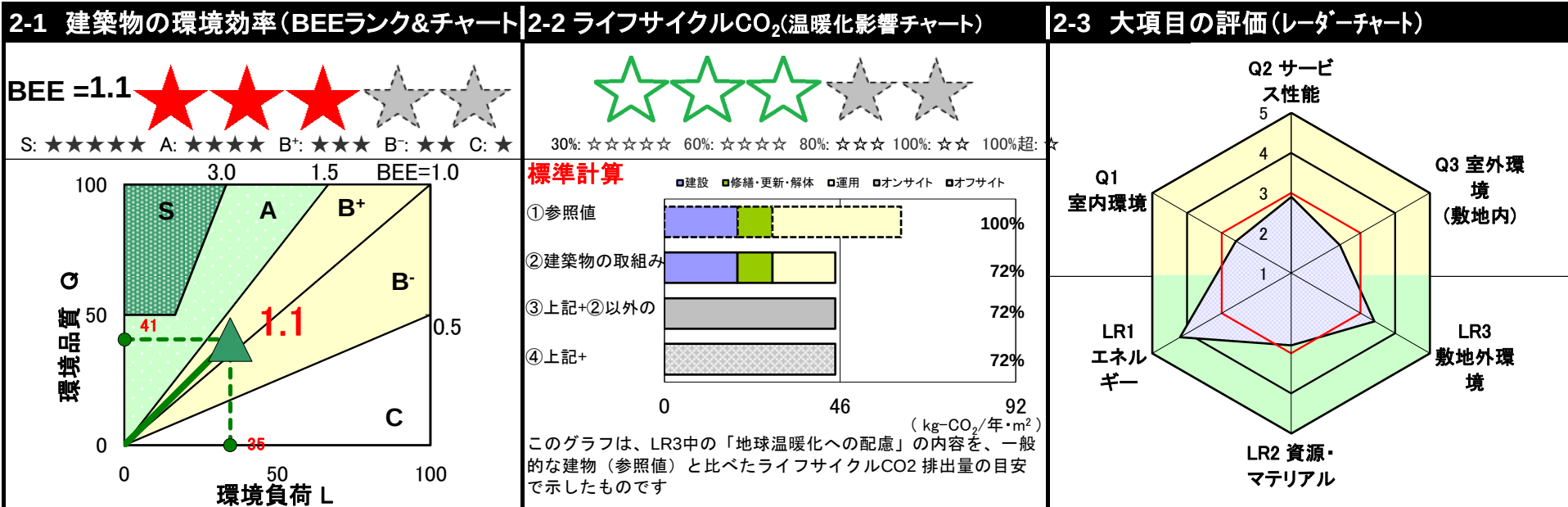
</

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	階数	地上2F
建設地	熊本県熊本市南区南高江3丁目18	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2018年7月30日
敷地面積	31,885 m ²	作成者	権藤 浩
建築面積	7,411 m ²	確認日	2018年8月1日
延床面積	16,547 m ²	確認者	松尾建設株式会社一級建築士事務所



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版			■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版							
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社熊本工場自動倉庫建設工事			欄に数値またはコメントを記入		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)					
スコアシート			実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄						全体	
					評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.6	
Q1 室内環境						0.31		-	2.6	
1 音環境					1.6	0.15	-	-	1.6	
1.1 室内騒音レベル					1.0	0.40	-	-		
1.2 遮音					1.0	0.40	-	-		
1					開口部遮音性能	1.0	0.60	-		-
2					界壁遮音性能	1.0	0.40	-		-
3					界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-		-
4					界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-		-
1.3 吸音			天井:岩綿吸音板、床:カーペット		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境					2.0	0.35	-	-	2.0	
2.1 室温制御					3.0	0.50	-	-		
1					室温	3.0	0.38	-		-
2					外皮性能	3.0	0.25	-		-
3					ゾーン別制御性	3.0	0.38	-		-
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境					3.3	0.25	-	-	3.3	
3.1 昼光利用			昼光率:16.18%		4.2	0.30	-	-		
1					昼光率	5.0	0.60	-		-
2					方位別開口	-	-	-		-
3					昼光利用設備	3.0	0.40	-		-
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-		
1					昼光制御	3.0	1.00	-		-
3.3 照度					3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境					3.4	0.25	-	-	3.4	
4.1 発生源対策			内装材は全てF☆☆☆☆を採用		4.0	0.50	-	-		
1					化学汚染物質	4.0	1.00	-		-
4.2 換気			有効開口面積:8.431㎡>1/15 各種排気口と6m以上離して設置		4.0	0.30	-	-		
1					換気量	3.0	0.33	-		-
2					自然換気性能	5.0	0.33	-		-
3					取り入れ外気への配慮	4.0	0.33	-		-
4.3 運用管理					1.0	0.20	-	-		
1			CO ₂ の監視	-	-	-	-			
2			喫煙の制御	1.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9	
1 機能性					2.2	0.40	-	-	2.2	
1.1 機能性・使いやすさ			天井高:2.7m		1.6	0.40	-	-		
1					広さ・収納性	1.0	0.33	-		-
2					高度情報通信設備対応	1.0	0.33	-		-
3					バリアフリー計画	3.0	0.33	-		-
1.2 心理性・快適性					2.3	0.30	-	-		
1					広さ感・景観	4.0	0.33	-		-
2			リフレッシュスペース	2.0	0.33	-	-			
3			内装計画	1.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-		
1			維持管理に配慮した設計	3.0	0.50	-	-			
2			維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振			給水・排水管:VP、給湯管:HTVP管、2種類以上Bを使用。 Eは不使用。		3.0	0.50	-	-		
1					耐震性(建物のこわれにくさ)	3.0	0.80	-		-
2					免震・制震・制振性能	3.0	0.20	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.2	0.30	-	-		
1					躯体材料の耐用年数	3.0	0.20	-		-
2					外壁仕上げ材の補修必要間隔	2.0	0.20	-		-
3			主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.10	-	-			
4			空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10	-	-			
5			空調・給排水配管の更新必要間隔	5.0	0.20	-	-			
6			主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-		
1			空調・換気設備	3.0	0.20	-	-			
2			給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-			
3			電気設備	3.0	0.20	-	-			
4			機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-			
5			通信・情報設備	3.0	0.20	-	-			
3 対応性・更新性					3.6	0.30	-	-	3.6	
3.1 空間のゆとり			事務所:3.9m、工場:14.2m 壁長さ比率:0.04		5.0	0.30	-	-		
1					階高のゆとり	5.0	0.60	-		-
2					空間の形状・自由さ	5.0	0.40	-		-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30	-	-		
3.3 設備の更新性					3.0	0.40	-	-		
1					空調配管の更新性	3.0	0.20	-		-
2			給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-			
3			電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
4			通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-			
5			設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-			
6			バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			

Q3 室外環境(敷地内)		—	0.39	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-			3.6
LR1 エネルギー		—	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.74	5.0	0.01	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.49	5.0	0.62	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		—	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		大便器・小便器:節水器具、洗面:自動水栓を採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		—	1.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上げ材で容易に分別可能	4.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	
1 消火剤			-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		—	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出量72%	4.1	0.33	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼設備使用無し	5.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	
2 污水处理負荷抑制			3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	
2 振動			-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

外壁に断熱性能のよいALC版、屋根二重折版に断熱施工することにより建物外皮の熱負荷抑制。
敷地周辺は既存緑化を保存し、まちなみの景観に配慮する。

Q1 室内環境

内装材に吸音材、F☆☆☆☆を採用することで、快適な室内空間に配慮。

Q2 サービス性能

建物の階高、空間の形状、自由さを考慮しゆとりある空間としている。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地周辺は既存緑化を保存し、まちなみの景観に配慮する。

LR1 エネルギー

外壁に断熱性能のよいALC版、屋根二重折版に断熱施工することにより建物外皮の熱負荷抑制。

LR2 資源・マテリアル

節水器具の採用。

LR3 敷地外環境

燃焼設備を使用しないことにより大気汚染防止に努める。
LCCO2排出量72%

その他

特になし。

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社熊本工場自動倉庫建設工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				95	0.40	38.00
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				66.2	0.20	13.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				60	0.20	12.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				73.5	0.20	14.70
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数